



春を思わせるような暖かな陽気で幕を開けた 2016 年。冬休みを満喫して戻ってきた子どもたちは早速初雪にまみれて遊び、餅つき大会も楽しみました。授業で風揚げをする学年もあります。新しい一年。空高く、皆の描いた夢が揚がりますように。

\*\*\*\*\*

## \* 二学期 月例祭 \*

夏から冬へ～一年のうちで最も長く充実の二学期。力強く照りつけていた太陽が次第に和らぐにつれて木々の葉もその彩りを変えるように、子どもたちもその内側から外側から確かな変化を遂げて成長を重ねてきました。そうした日々の学びの成果を発表する場である「月例祭」が、学期末の 12 月 19 日（土）に行われました。今月号のニューズレターでは二学期の月例祭の様子を写真とともにご紹介します。



### ～二学期月例祭 プログラム～

6年生 合奏 クリスマスキャロル  
「世の人忘るな (God Rest Ye Merry Gentlemen)」

1年生 オイリュトミー  
メルヒェン「しらゆきひめ」

2年生 朝のリズムの時間より

5年生 オイリュトミー  
ベートーベン「メヌエット」、工藤直子の詩

3年生 音楽劇  
日本民話より「ならなしとり」

7年生 オイリュトミー  
ベートーベン「バガテル 二長調」

4年生 朝のリズムの時間より  
アイスランド古代詩など

8年生 オイリュトミー  
枕草子より「野分のまたの日」  
ケンプター 戦いのステップ 棒練習

9年生 合奏  
ヘンデル「サラバンド」  
マスカーニ「アヴェ・マリア」

7・8・9年生合同 合唱  
ラター「永遠の花 (A flower remembered)」

4～9年生 合唱  
「One Little Candle」



1年生 オイリュトミー  
昨年春に入学してきた可愛い新入生たち  
オイリュトミーの動きも力強くなりました



2年生 朝のリズムの時間より  
マリアと羊飼いの話を、歌にあわせて  
自分たちだけで動けるようになりました



3年生 音楽劇  
各々が楽器を演奏しながら配役をもち  
長い劇を演じきりました



4年生 朝のリズムの時間より  
棒を使い、リズムを刻みながら  
ひとさわ元気な声が会場に響き渡りました



5年生 オイリュトミー  
人数が多いと複雑になってくるフォルムも  
見事にスムーズにこなしていました

## \* 専科 4年生音楽の授業から～\*

4年生は、12月に練習したクリスマスの曲を1月に持ち越して、先週その最後の練習を保護者の方々に参観して頂きました。それは笛のメロディーとカンテレの伴奏2パートとの合奏です。

3年生までは皆で1つのメロディーを演奏することを学び、4年生からはグループに分かれて一声のメロディーを、タイミングをずらして演奏する「カノン」を学び、その後パートが重なる多声部の「合奏」へと進みます。合奏するためには、自分のパートをテンポを崩さず一定に保って演奏することと、他のパートも聴きながら演奏し、合わせる必要があります。

今回のクリスマスの曲は笛が難しかったので、笛を冬休みの宿題にして1月まで練習することにしました。当初はそこまで長く続ける予定ではありませんでしたが、4年生がとても熱心に取り組む様子を見て練習を続けた方が良かったと思ったからです。

参観日の授業はいつもと同様に、歌の練習から始まります。子どもたちが歌うメロディーと少しずれた音程のメロディーを私が一緒に歌います。これは少し難しく、上手くいく時といかない時があります。次に4拍子のタクトで歩きながら2グループに分かれてカノンで歌います。これは迷うことなくずいぶんすっきりと歌えるようになりました。

その後、メインのクリスマスの曲を全員で笛、カンテレ①、②のパートを順に練習し、次に3パートと指揮に分かれて2パートずつ合わせ、3パートで数回合わせていくうちにだんだんまとまってきて子どもたちが納得した表情になったところで、最後の仕上げの演奏をして終わりました。



子どもたちは練習の過程で他のパートに合わせなければいけない個所に気づいたり、ずれが生じるところでは、お互いに補い合うことで合奏が成立することが少し理解できたのではないかと思います。どこにどう合わせたらよいか、皆が迷って混乱したこともありましたが、子どもたちは諦めず完成させることに意欲的で、自主的に放課後練習もしました。そこを経て各パートが一緒になれた時の満足感はひとしおだったのでしょ。

私の予想を超えた所でここまで熱意を持って「合わせたい」と思えることが素晴らしく、4年生の成長を感じました。

(音楽専科教員 原口理恵)



6年生 合奏

リコーダーとともにチェロなどが演奏されました



7年生 オイリュトミー

高学年のオイリュトミーでは指先にまで気が張り、空気感が違います



8年生 オイリュトミー



9年生 合奏

さまざまな楽器を演奏する9年生皆でハーモニーを奏でるのもあつかわずかとなりました



高学年による合唱



子どもたちの澄んだ美しい歌声で聴く『One Little Candle』また格別の想いを抱かせてくれました

横浜シュタイナー学園では「月例祭」を一般公開しております。三学期末は「修了の会」として3月12日(土)に開催の予定です。機会がございましたら子どもたちの一年間の集大成を是非会場でご覧ください。

## \*ユネスコスクール全国大会プレ・イベント 参加報告\*

### 「8つのドア」と「ネットワークづくり」

2015年12月5日(土)、第7回ユネスコスクール全国大会が昭和女子大学において開催され、横浜からは英語科の内村真澄が参加しました。わたしは仕事があってあいにく参加できませんでしたが、前日に神楽坂のユネスコ・アジア文化センター(ACCU)で開催された大会プレイベントには参加できました。このイベントは学園のユネスコスクールの活動にとってたいへん重要な内容を含んでいましたので、ここに報告したいと思います。

プレイベントの会場は100名を越える参加者でいっぱい、その多くは全国から集まった校長クラスの先生方でした。イベントにはふたつの軸がありました。(1)イギリスのサスティナブル・スクール運動推進者アン・フィンレーソンさんのレクチャーとワークショップ、(2)多摩市立多摩第一小学校の棚橋乾先生の呼びかけによる全国ユネスコスクール・ネットワーク立ち上げについての話し合いです。

アンさんの講演は、イギリスのサスティナブル・スクール運動の詳細がわかり、たいへん興味深いものでした。ブレア政権時代に政策として始まった運動ですが、その後、ブラウン政権になると政府からの推進力を失って活動が停滞します。そこでサスティナブル・スクールの実践者たちは、独自のネットワークづくりでつながりあい、政府の無理解に対抗して苦境を乗り越えていったのだそうです。

アンさん指導によるワークショップでは、サスティナブル・スクール評価のための「8つのドア」による課題整理に取り組むことができました。「8つのドア」とは、ブレア政権時代につくられた「サスティナブル・スクールのためのナショナル・フレームワーク」のことで、当時、イギリスが推進しようとした持続可能な開発の優先項目に基づいたものです。食と飲料、エネルギーと水、移動とその手段、消費行動と資源、建物と敷地、インクルージョン、よりよい地域生活、地球的視野の8つのカテゴリを、(1)学校内の環境、(2)カリキュラム、(3)学外とのつながりの3つの領域において評価したとき、わたしたちの学校はサスティナブル=持続可能性があるかどうかというわけです。

ユネスコの活動の多くは、国際社会に対して設定した目標をどこまで実現できたのかを客観的に示すことが求められます。そのために、さまざまな評価基準が分野ごとにつくられてきました。この「8つのドア」もそのひとつとして早い段階で紹介されてきたものです。

今回、実際に取り組んでみた実感としては、8つのカテゴリに当てはめにくいESD実践も多く、政策から降りてきた評価基準を教育の現場に用いる難しさがありました。とは言っても、イギリスの運動がESDを推進した意義は大きく、サスティナブル・スクールのネットワークに学ぶことも多いと感じました。今回アンさんが大会に呼ばれた理由も、世界最多の1,000校近いユネスコスクールができた日本のESDの質的向上が急務となっており、その課題解決にネットワークづくりが欠かせないという認識があるからだと思います。ESDへの取り組みに悩む学校を相互支援することに焦点が当てられた後半の話し合いは、そこを意識したものでした。その活発な話し合いを傾聴しながらも、持続性のあるネットワークをつくるためにはESD実践の楽しさの共有がつながりの中心にある必要があるのではないかと感じ、分科会グループのなかでも話し合いました。

後半の話し合いで出された多様な意見は文書にまとめられて全国大会で配布され、いよいよユネスコスクールの全国的なネットワークづくりに着手することが確認されたのです。



### 学園が第2回ユネスコスクール神奈川県大会の会場校に

もうひとつ、重要な話し合いがプレイベントの会場で行われました。数年前から続けられてきた神奈川県ユネスコスクールの交流を一步進めて、神奈川県ユネスコスクール連絡協議会を公式に発足させたのです。

神奈川県のユネスコスクールの相互交流は、横浜市立永田台小学校の住田校長と神奈川県立有馬高校の望月先生のとりまとめで2013年夏から地道に続けられてきました。そして、今年の8月には第1回ユネスコスクール神奈川県大会が開催され、それを機に生まれた連絡協議会設立の機運を受けて、今回、各校の同意を得て正式にその発足につながったのです。連絡協議会には県内のユネスコスクール各校とともに、ユネスコスクール支援大学である東海大学、玉川大学も参加し、顔の見えるフラットな関係のネットワークをつくっていくという主旨をそこで確認しあいました。

今回の連絡協議会発足は横浜シュタイナー学園にとってたいへん大きな意義があります。第2回ユネスコスクール神奈川県大会の会場校を学園が引き受けることになったからです(2016年8月27日開催予定)。県内の先生方、ユネスコ関係者100名近くを学園に迎えて交流する貴重な機会。発足したばかりの神奈川県ユネスコスクール連絡協議会が大会の企画運営とともに行う場となり、学園からも様々な提案をさせていただき、日本のESD文化に少しでもよい風を送る一助となれるようがんばりたいと思います。

(ユネスコスクール/事務局・佐藤雅史)

### 資料：神奈川県ユネスコスクール交流の実績一覧

- 2012年9月20日：公開授業研修「東日本大震災後の時代に求められる教育とは」(横浜市立永田台小学校、参加：佐藤雅史)
- 2013年8月1日 第1回神奈川県ユネスコスクール・セミナー(横浜国立大学付属鎌倉中学校、参加：隅田みどり、浜本マヤ、佐藤雅史、鈴木真奈美)
- 2014年11月21日 第46回全国小中学校環境教育研究大会(横浜市立永田台小学校、参加：所澤新一郎、佐藤雅史)
- 2015年1月10日 第2回神奈川県ユネスコスクール・セミナー(神奈川県立有馬高校、参加：内村真澄)
- 2015年8月1日 第1回ユネスコスクール神奈川県大会(横浜市立幸ヶ谷小学校、参加：横山義宏、佐藤雅史)
- 2015年9月19~20日 ASPUnivNet 東海大学教養学部主催「UNESCO/ESD 交流セミナー 未来の学校について考えてみよう」(東海大学、参加：横山義宏、内村真澄)
- 2015年12月4日 神奈川県ユネスコスクール連絡協議会準備会議(神楽坂 ACCU全国大会プレセミナー会場にて、参加：佐藤雅史)

# インフォメーション

## 連続講座「建築の歴史」

第1、2回は終了しました。

第3回

日時：2016年2月3日（水）10:00～12:00

講師：岩橋亜希菜氏（シュタイナー建築家）

会場：霧が丘校舎

参加費：2,000円（NPO会員1,500円）

※終了後、ランチ会もあります

## 公開講座

### 「土のこと地球のことを考える」

日時：2016年3月20日（日）

10:00～12:30/13:30～16:00

（午前午後通しての内容になります）

講師：ぼっこわば耕文舎

ピリオ・ドニー氏・假野祥子氏

会場：霧が丘校舎

参加費：4,500円（NPO会員4,000円）

※詳細はHPにてご確認ください

## 茶話会／校内見学会

学園の雰囲気を感じていただける

この機会にどうぞお訪ねください。

<茶話会>

～教員を交えてざっくばらんに話しませんか

日時 2016年2月19日（金）10:00～12:00

<校内見学会>

～教室など校舎内を教員・事務員がご案内

日時 2016年2月19日（金）15:30～16:30

参加費：無料

場所：霧が丘校舎

学園にご興味・ご関心のある方はどなたでも

お越しください。お子様連れも可です。

※お子様の上履きはご持参ください。

## 児童募集

2016年度転編入学を希望される保護者対象の説明会を実施します。

※募集学年（2016年度の学年です）

1年、2年、3年、5年、7年（各学年とも男女若干名）

日時：2月28日（日）10:00～12:30

場所：十日市場校舎

お申込、詳細については

ホームページにてご確認ください。

ご寄付ありがとうございます（順不同・敬称略）

2015.11/12～2016.1/14

星の金貨、杉田克明、山下里美、福地耕治、料理部（聖夜劇にて）、室恵子、ysgteamoyaji@おこわ会

\*よこはま夢ファンドを通してのご寄付

9/1～9/30 伊藤賢一朗、千原遠見彦

10/1～10/31 石崎茂、高田八千代、飯田正明

～皆様からのご寄付は大切にに使わせていただきます～

NPO会員・NLメンバー案内

正会員・賛助会員：12,000円

\*ニューズレターメンバー：2,000円

（\*ニューズレターと野ばらを年間でご購読いただく会員です）

継続登録、2016年度新規登録、絶賛募集中です。

\*詳細は事務局へお問い合わせください\*

お問合せ、お申込み先

**横浜シュタイナー学園事務局**

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

**【会費・ご寄付等お振込先】**

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店（せにわ店）当座013702

## ☆ 星の金貨より ☆

2/12,13「ガイアシンフォニー第八番&第三番／監督講演会」（会場：アートフォーラムあざみ野）前売券販売中。『星の金貨』でご購入いただくとチケット代の10%が学園に寄付されます。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com



## HP内「がくえんにつし」更新中！

横浜シュタイナー学園の日々の様子がわかる「がくえんにつし」をホームページに掲載しています。

そちらもぜひご覧ください。

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第88号

2016年1月26日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします